



タイルルーバーとテラコッタ陶板のディテール見上げ

自治医科大学医学部教育・研究棟

医療教育・研究の発信基地に相応しい建物の外壁は様々な形状と質感のセラミックス素材を使用しました。

西側の妻壁にはテラコッタ陶板、東側の妻壁にはタイルも併用して使用しました。教室及び各居室に採光を取り入れるため、外壁面カーテンウォールにアガトスルーバーを敢えて縦方向にフィンの様に施工しました。ルーバーは日照条件や時間帯で表情をかえて光が差し込みます。妻壁は暖かく且つダイナミックな大きな陰影を持つテラコッタ陶板の面状は2種類の面状を計算して張り合わせ、複数の面状があるかのように見えます。色合い形状ともにメリハリの効いた仕上がりになっています。



西側全景

DATA

施主：自治医科大学
 設計：石本建築事務所
 施工：清水・浜屋・磯部特定建設工事共同企業体
 所在地：栃木県下野市薬師寺3311-1
 竣工：2011年12月

商品情報

外装壁：PRS-300/S109A4-5857(特注色)
 外装壁テラコッタ陶板：FC-11/916.5×156/E1004-81T=23(15.5+7.5) 2面状1:1MIX(特注色)
 外装壁アガトスフィン：AGC-265×742/SW1 T=13(特注色)
 内装壁：ECO-303/SLA-2

外観

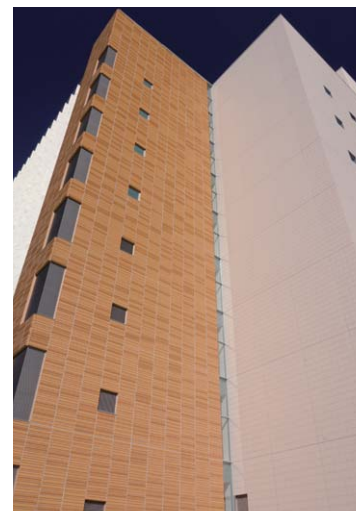


西側中景

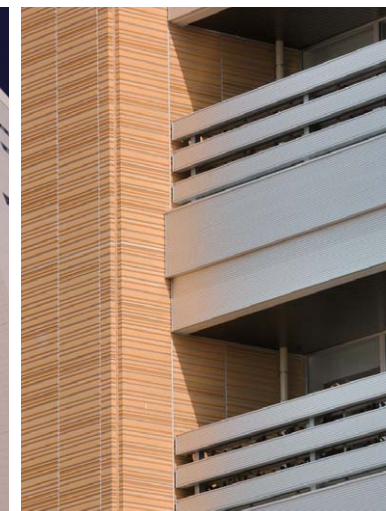


中景

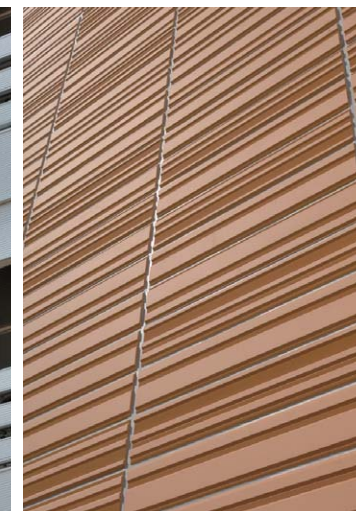
外観



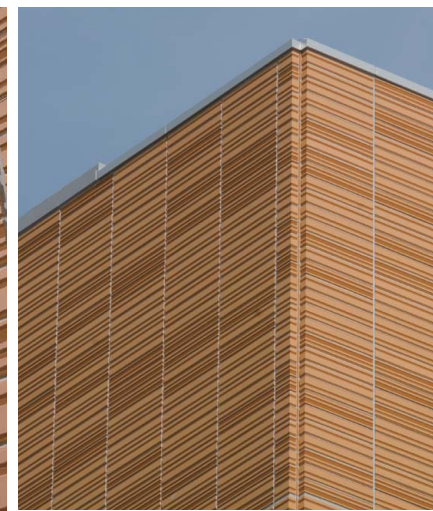
見上げ



コーナー部



近景見上げ



近景

ディテール



テラコッタ陶板コーナーディテールアップ



テラコッタ陶板ディテール



タイルディテールアップ